

## みちのくだより 青森

## 十二湖の魅力

大泉開発（株）  
菊池 寛哉

私の住む青森県。この西端、世界遺産「白神山地」の西端、西津軽郡深浦町岩崎（旧岩崎村）、西が3つも並ぶ地の津軽国定公園内に「十二湖」がある。

白神山地は、青森県と秋田県との県境に広がる130,000haに及ぶ山岳地帯で、このうち8,000年もの間、手つかずのブナの原生林で占められる16,971haが、平成5年12月にユネスコによる世界遺産に登録された。



(深浦町「十二湖の森」Webページより抜粋)

十二湖は、江戸時代宝永元年（1704年4月）にこの地を襲った大地震によって形成されたもので、33の湖沼群からなり、大崩の頂上から眺めると12の池だけ見えることから「十二湖」と名付けられた。

平成26年のお盆、十数年ぶりに十二湖を家族4人で散策した。訪れた目的は、先ず、家族一人一人が、それぞれの十二湖を感じることであった。

当日は天候に恵まれ、かなり暑かったが、ブナの木立ちは直射日光を程よく遮り、吹き抜ける風が心地良かったのを覚えている。娘たちは、十数年前、小学校低学年のときには興味を示さなかったが、高校生になった今、青池の神秘的な青さに感動していた。

十二湖には、現地を訪れた観光客を案内する観光ガイドが十数人いるが、この中に御年78歳になる現役最年長のガイドがいる。

このガイドは、観光客から質問されることに備え、ガイドのない日は趣味のカメラを片手にガイドの穴場探しのため十二湖散策、家では十二湖周辺の動植物図鑑を、車のオーディオからは、十二湖に生息する野鳥の鳴き声が収録されたCDがいつも流れ、常に知識の習得？、いや、逆に忘れな

い事に努めている。

このガイド、「せっかぐ十二湖ば観に来てけだんだば、いいどご見せねばまねべな」と、「あど、何年ガイドでできるべな」と語るのが、私の父である。

父の住む旧岩崎村の生家は、家の裏が山裾に近接し、1分歩けば海に出る。正直かなり田舎である。この田舎を年に数度訪れるが、訪れる度に、時間の流れがゆっくりしていると感じ、癒される。ただし、「カメムシ」が邪魔しなければである。とにかく大量に父と同居しているが、それが自然と本人はほとんど気にもしない。

私は主に地質調査業務に携わっている。多くの場合、自然を相手にしていることになる。

昨今、三陸沖巨大地震による災害や豪雨による土石流災害など、起こってはほしくない人的被害が頻発している。人間の力が及ばない自然の力によるところが主因と思うが、自分の携わる業務を通じて、災害復興や防除に少しでも寄与したい。知っていることは伝えていかなければならないと考える。

地球温暖化などには、自分で出来る小さな対策を実践し続けたい。また、白神山地のような自然の緑は、太古から二酸化炭素を吸収し、我々が生きていくために必要な酸素を排出し続けてくれていることを忘れてはならないと、自然と共に生きる父を見ていると、痛感させられる。



お盆に撮影した「青池」

再び十二湖を訪ねる時は、父が現役の間に、家族や親類を伴ってガイドを依頼したいと思っている。

私たちの知らない十二湖に出会えることを期待して・・・。

## みちのくだより 岩手

## 盛岡へおでっくなんせ

(株) 北杜地質センター  
藤村 正二

ハア一城下盛岡七重八重  
石の中にも花が咲く  
ハア一私しゃ一重の恋に咲く  
さて からめてヨどっこいナ一  
ハア一岩手かねつるからめてしょ

と盛岡音頭にも唄われた、岩手県をからめる県庁所在地が「盛岡市」です。

地質学的には白亜紀の花崗岩類が、市街地中心部にドーンと分布し、歌詞にもある「石割桜」が毎年4月末には裁判所前できれいに咲き誇ります。

願をかなえるなら市街地東方に「盛岡八幡宮」が鎮座しています。北側には学業の神様「天満宮」、南側には酒の神様「松尾神社」があります。盛岡の春夏秋冬祭事には欠かすことの出来ない神社群で、八幡宮の秋の例大祭には多くの人で賑わいます。

市街地を流れる中津川は良質の伏流水の源で、段丘崖下の下町には「大慈清水」に代表される多くの清水があり、井戸端会議の場となる他、造り酒蔵元もあり、京都の大社がこの地域環境を求め松尾神社を起こしたとされています。

城下町だけに由来する地名も多く、肴町、惣門、鉾屋町、紺屋町、花屋町等々今でも町名として残っています。古き良き岩手銀行の建物周辺を、町名を探しながら散策するのも盛岡を知る良い機会となります。

旧市街地の北方には岩手大学があります。

今では市街地の一角で、高校、小中学校、岩手河川国道事務所、NHK 等文教地域となっています。地盤工学には欠かせない、齋藤徳美先生、大河原正文先生、越谷 信先生、井良沢道也先生等々頼りがいのある先生方は、種々ネットワークを生かした会

合も多く開催しています。学内は設備も充実し、各種催し物の開催には非常によい環境にあります。

盛岡市は北東北の拠点として、東北は仙台のみで実施されている資格試験・更新講習なども開催できる環境にあります。

盛岡へおいでの際は三大麺(わんこそば、盛岡冷麺、じゃじゃ麺)、さんさ踊りもいのですが、ぶらり古き良き町を散策することもお薦めします。

盛岡はいい町ですよ。皆さんおでっくなんせ



石割桜



八幡宮



岩手大学